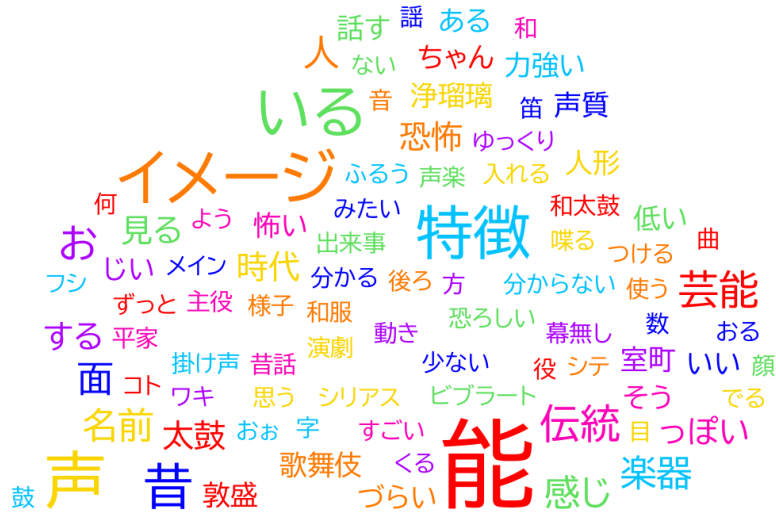


資料1



資料2

あなたは能楽発見ツアー企画担当者です。
今回、能の音楽である「謡」の魅力を徹底解剖
したパンフレットを作成することとなりました。
そのために以下3点について深く調べよう。

- ①能の音楽である「謡」の特徴を調べよ
- ②「謡」と能の場面との関わりを調べよ
- ③他の伝統芸能と比較し能のよさを調べよ




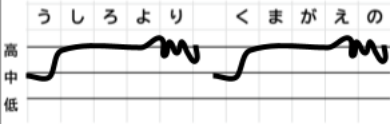

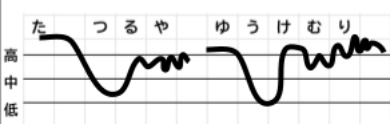
探究課題

能はなぜ、長い間存在し、
多くの人に愛されてきたのか

資料3

本時のめあて： 謡のコトバ・フシの音楽の特徴を調べよう

敦盛で謡われる「コトバ」「フシ（ツヨ吟、ヨワ吟）」それぞれの声の音色、リズムや速度などに気をつけて聴いてみよう。

謡の種類	声の音色	リズムや速度など	旋律の音高（フリーハンド挿入で入力）
コトバ 	強い	・一定の抑揚 ・一音一音ははっきりしている ・拍に合うような歌い方	
フシ ツヨ吟 	コトバより強い	・息を強く押し出すような発声 ・ゆったりで語尾を伸ばしている ・ビブラート、拍に合わない	
フシ ヨワ吟 	ツヨ吟より少し優しい	・旋律的で繊細 ・ゆったり流れるような発声 ・ツヨ吟よりもよりのめらか	

資料4

振り返り

題材④ NOH MUSIC NOH LIFE 組 番 氏名

第1時の振り返り

この題材でこれから「どんなことを学んでいきたいか」
願いや思いなどを入力しましょう。

能に関する言葉の意味や役割について知ることができた。2つの謡い方にはどのようにして使い分けられているのか、またそれぞれの違いや特徴はなにか調べていきたい。
予想:コトバはセリフ的な役割で、フシは演者の内面の気持ちを表す役割かな？

第2時の振り返り

学習を通して新しく気づいたこと、よりくわしく知ることができたことを書きましょう。

「敦盛」で敦盛の主人公の感情を曲の速度やリズムから読み取ることができた。謡は場面を観客の人にわかるようにはっきり歌ったり、速度を変えてみたりと工夫していることがわかった。太鼓のリズムにも着目すれば物語が変化することがわかった。次はより、シテの動きに着目して物語が進んでいくかを学んでいきたい。

題材終末の振り返り

この題材全体で「学んだこと」「できるようになったこと」
この題材を基に「今後の学習で生かしていきたいこと」「他の教科で生かせること」「生活や社会で生かせること」

能はただの演劇ではなく、いろんな要素が組み合わさってどんどん進化してるので長い間多くの人々に愛されていることがわかった。能と文楽には固有の特徴と共通点があることがわかった。日本の文化である音楽には、共通点があることがわかった。

資料5

本時のめあて： 能の場面のなかで謡がどのように表現されているのか考えよう。

場面の様子が「謡」でどのように表現されているか、**リズム**と**速度**に注目しながら聴いてみよう。

いーちーもーんーみーなーみーなー ふーねーにーうーかーめーばー のーりーおーくーれーじーとー	
現代語訳	一門が皆々、 船り移って海に浮かんだので 乗り遅れまいと
リズムや速度等	速度は遅い→段々と速くなっていく。どちらかと言うなら一定のリズム。

みーぎーわーにーうーち よ れ ばー ごーざーぶ ね もー ひょーお せんも	
現代語訳	敦盛も水際に近寄ったところ、 安徳天皇の乗った御座船も 兵を乗せた兵船も
リズムや速度等	速度がすこし速くなった。「ひょうせん」の最後で一気に遅くなる

は る か に イ の び た もーオ おーーオーーーン	
現代語訳	はるか沖の方へと行ってしまわれた
リズムや速度等	段々とゆっくりになっていた。伸ばし棒が多い。母音をかなり伸ばしていた。 ＝生み字

→「謡」の表現の工夫(リズムや速度)が場面描写とどのように関わっていたか自分の考えを入力しよう。

資料6

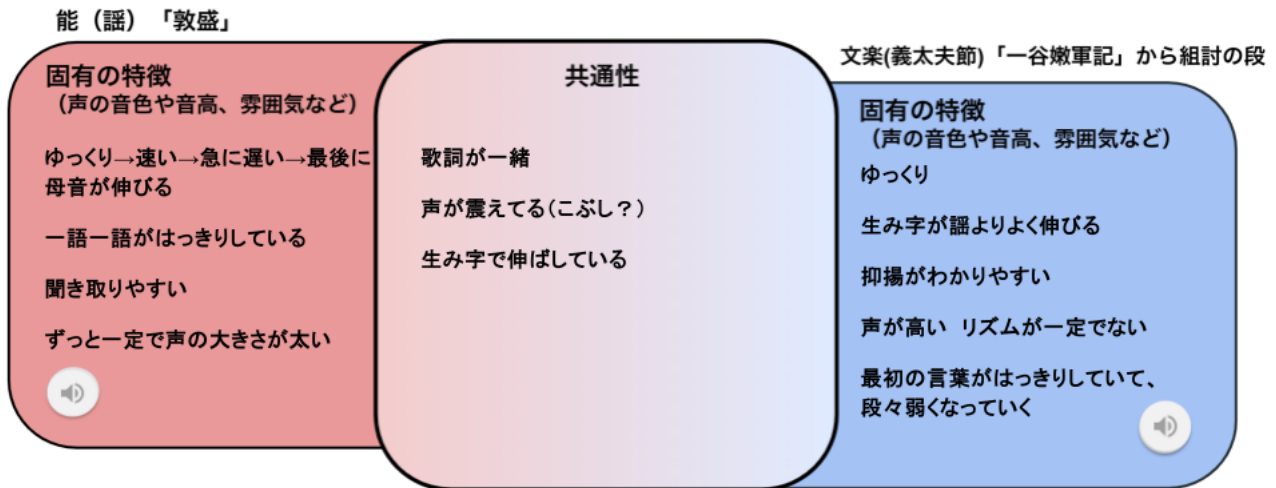
このコマはたっぷり息をとって揃える

「ふね」ということばはより強調させるためにプレスを多くとる

1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8														
	い	ー	ち	ー	ん	み	ー	な	ー	み	ー	な	ー	ふ	ー	ね	ー	に	う	ー	か	ー	め	ー					
(ツ)	船にむかって勇ましく走る様子を「一定の速さで」																												
	ば	ー	の	り	へ	お	ー	く	れ	ー	じ	ー	と	ー	ー	み	ー	ぎ	ー	わ	ー	に	ー	う	ー	ち	よ	れ	ン
	「のりおくれじ」はこの段のなかで一番強く、ひとつひとつをハッキリ																												
	「うちよれば」からは焦る気持ちを さらに速く歌って言葉も詰めるように																												
(ツ)	ば	ー	ご	ー	ざ	ぶ	ね	も	ー	ひ	ょ	ー	お	せん	も	ー	は る か に い...												
	「ひょうせん」はともに戦う予定だった仲間と離れる悲しい気持ちをだんだんゆったりと歌っていく																												
	力強い歌い方から悲しみや寂しさを表すような「柔らかな」声で表現																												
	はるかに行ってしまった気持ちを突然「遅くする」																												
	覚悟と死んでしまうかもしれない思いを																												
	び	た	ア	も	オ	オ	お	オ																					
	もう味方はだれもない自分一人で戦うという覚悟を「遅くきっぱりと」																												

資料7

能（謡）と文楽（義太夫節）を聴き比べて、共通していることや固有の特徴について考えてみよう。



資料8

Wonderfulness of 'Noh'

'Noh' MUSIC

'Noh' LIFE

①謡には3つ種類があります。1つ目は「コトバ」節付がなく、言葉を中心に謡う謡い方で一言一言がはっきりしていて力強いのが特徴です。2つ目は「ツヨ吟」強い息遣いで歌う謡い方で、コトバより優しいのが特徴です。3つ目は「ヨワ吟」優しくなめらかに謡うのが特徴的です。

②焦っている場面ではリズムが細くなり、速度が早くなりました。また、諦めたり無力になった場面では速度が遅くなり母音を伸ばす謡い方になりました。以上のことから謡は能の場面と関わらせて表現しています。

「能」に関する図表

能が長い間、たくさんの人に愛されてきた一番の理由は、表現があえてシンプルなことだと思います。文楽や歌舞伎みたいに、派手なセットや大きな動きで感情を全部見せるわけじゃありません。ゆったりとした動きや、静かで一見すると単調に聴こえる謡を使って、登場人物の悲しさや喜び、怒りといった心の動きを少しだけ見せてくれます。見ている人が「あの人は今、どんな気持ちなんだろう？」と自分なりに考えるのが楽しいし、人によって感じ方や楽しみ方が変わってくるのも、能のすごいところだと思います。